

災害事例

業 種：燃料小売業
被災者：60代男性 経験年数9年
傷病名：骨盤部骨折
休業見込：2か月
災害発生日時：令和2年1月下旬 午後1時00分

<発生状況>

ガソリンスタンドで重機に補充するオイル（20リットルのポリ容器2個）を
配送車両に載せるため、運搬しようと2個同時に持ち上げたところ、骨盤部を骨折した。

<解説>

福井県内の労働災害では、「動作の反動・無理な動作」
の労働災害が年々増加している状況にあり、特に高年齢労働者に多く発生しています。

「動作の反動・無理な動作」とは、重い物を持ち上げた時のぎっくり腰や無理な姿勢で物を支えた時のすじをちがえる等を言います。

本件災害においても、被災者は60歳代の高年齢労働者であり、その労働災害は全体の約3割を占めております。

このようなことから、厚生労働省では、高年齢労働者が安心して安全に働ける職場環境づくりや労働災害の予防的観点から「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン（エイジフレンドリーガイドライン）」を策定しました。

重量物を取り扱う作業では腰部の負担を避けるため、ベルトコンベヤーやフォークリフトの使用等が望まれますが、困難な場合は台車を使用することや複数人で作業を行うといった、高年齢労働者に配慮した取り組みが必要とされます。

